

野菜の展望

今年も全国的に未曾有の酷暑となり、梅雨明け以降 35℃超えの猛暑日が続き、記録づくめの年となりました。どの産地でも、生育中のものはヤケ・枯れ・倒状が発生し、播種したものは発芽しない、虫害も多発、そんな厳しい生育環境が続きました。その影響もあり、11月までは不足する品目も多くあり、現状も出荷不安定な状況が続いています。12月に入ると、各品目回復傾向の見通しです。

葉茎菜類の白菜は、茨城産他の入荷となり、石川産は上旬で終了です。キャベツは愛知・石川産中心の入荷となりますが、両県ともやや少なめの出回りを予想します。葱は石川産結束品主体に下旬より大分産の入荷で、バラ物では埼玉・群馬産等の入荷となります。レタスは兵庫産中心に静岡・長崎産の入荷となります。ほうれん草は静岡産主体に、福岡・群馬産の入荷となります。

根菜類の蓮根は石川産が前日掘りをスタートしたことで増量が見込まれ、他に茨城産も加わり、日々安定した入荷量が期待できます。大根は千葉産中心の入荷となります。各地順調な入荷が見込まれます。人参は愛知産中心の入荷となります。石川産は平年並みですが、岐阜産は平年を下回る見込みで、中旬までの入荷を見込みます。それ以外の各産地は中旬以降順調な入荷が見込まれます。

果菜類の胡瓜は高知・愛知産主体に平年より少ない入荷となる見込みで、石川産については終盤を迎えます。茄子は高知・愛知産、長茄子は熊本・福岡産となる中、不安定な入荷となる見込みです。トマトは石川産が終盤となり、愛知産を中心に、中下旬より増量が見込まれます。ピーマンは高知・鹿児島産で上旬はやや増加する見込みですが、全体的に不安定で少なめの入荷が予想されます。冬至に需要が高まる南瓜は石川・鹿児島産中心にメキシコ産の入荷ですが、輸入品は為替の影響が大きく、不安定な入荷となる見込みです。柚子は高知・徳島産中心ですが、主産地の高知県は裏年、徳島県の主力となる阿南地区も裏年です。肥大状況は少雨による落花の影響で大玉傾向となっています。高知産は5kgバラ玉、徳島産は250gパック中心の入荷です。高知産、徳島産ともに例年に比べ入荷量は大幅に減少する見込みです。きのこ類では石川産椎茸を中心にえのき・ナメコやぶなしめじ等は電気料金・資材費他の上昇により、前年の1~2割の減産が見込まれます。石川産の原木椎茸「のとてまり」は中旬頃初売りの予定です。石川産のせりの生産者は2軒になっており、熊本・大分・高知・宮城等の県外産で、年末需要に対応してまいります。

土物類の馬鈴薯は北海道・長崎産の入荷です。北海道産は平年並みの見込みですが、男爵はセンチュウによる虫害が多く、年々減少しています。長崎産は猛暑により小玉傾向と報告されています。玉葱は北海道産の入荷ですが、玉太りが進まず、平年に比べ出荷がやや少なく、緩やかに単価が上昇する見込みです。ごぼうは青森産主力にM・2Mを中心に順調な入荷が見込まれますが、九州産の新ごぼうは成育期の天候不順から不作傾向と予想されております。長芋は北海道・青森と両産地共に新物出そろいます。両産地共に豊作基調で太物中心の順調な入荷が見込まれます。12月はお歳暮・クリスマスなど最需要期を迎え、集荷には万全を期して参りますので販売拡大にご協力をお願い申し上げます。 《取締役野菜担当営業副本部長 嶋田 亮》

果実の展望

あわただしい師走に入り、年末贈答の最需要期を迎える時期となりました。

みかんは裏年で、入荷量は昨年より減少と予想されます。食味について糖度は例年並み、酸味切れのよいみかんとなっております。肥大状況については2L・Lサイズ中心の出荷です。このことから、今年は福岡産(マイルド)・長崎産(味ロマン)などの、高糖度商品の割合は多いです。尚、早生種から普通種への切り替わりについては、主力産地の長崎・福岡産ともに10日頃となる予定です。

りんごは長野・山形・青森からの出回りで、前年よりも出荷量は減少見込みです。

莓は愛知・九州地区より、章姫・紅ほっぺ・ゆめのか・あまおう・さがほのか等の各品種の入荷があり、今後の天候の影響にもよりますが不安定な入荷見通しとなっております。

柿は福岡産(JAにじ)より中旬から冷蔵富有柿に切り替わっての入荷です。

干し柿は石川産中心の入荷で、JA志賀のころ柿は前年より半減の入荷見込みです。富山産については前年並みの入荷となる予想です。

メロンについては静岡産が前年よりも出荷量は減少すると見られ、高知・九州地区についても少ない入荷となる見込みです。

輸入果実のバナナはフィリピン産中心に南米産の入荷で、各産地ともに順調な入荷となります。オレンジはオーストラリア産ネーブルと中半あたりからバレンシアも入荷し、併売となります。グレープフルーツはメキシコ産ルビー種の入荷で、40玉・45玉中心の販売となります。レモンはチリ産の販売を継続し、中半あたりからカリフォルニア産の入荷で140玉、165玉の小玉サイズの販売となります。パインはゴールデン・スウィーティオともに順調な入荷が見込まれます。その他、オーストラリア産ハネジュウメロン、ペルー産シードレスブドウ、アメリカ産メローゴールド、メキシコ産アボカド、ブラジル産マンゴーに加えてオーストラリア産とタイ産の入荷も見込まれています。

本年も一年間の締めくくりの月となりましたが、何卒宜しくお願い申し上げます。

《取締役果実担当営業副本部長 荒木 智》